

滝口ひさおの議会報告

第45号 2009年11月
日本共産党鴨川支部
TEL・FAX 7095-2923

9月議会は9月7日から9月29日まで開かれました。私は「市民が利用しやすいコミュニティバス」「鴨川地域新エネルギービジョン」について一般質問を行いました。



太海多目的公益地約80億の無償譲渡に続き

旧主基小および鴨中統合後に無償貸与の計画

10月19・20日に市長は議会の会派ごとに学校施設の統合後の跡地について、市長は「旧主基小学校について（平成21年3月閉校）文理開成高校（日本語学校と通信教育）に無償貸与。借用期間は、平成22年4月1日から平成25年3月31日、旧小学校施設を全て使用（旧主基小学校の残債約3900万円）。グラウンド、体育館、プール等については、地元主基地区の住民が使用を希望した場合は教育活動に支障のない限り、利用できる」などの説明をしました。

スクールバスへの子ども送迎のための駐車場を主基小内に確保してほしいという住民からの強い要望があります。

鴨川中学校跡地（平成23年3月閉校予定）について。 仮称亀田医療大学（看護学部看護学科、専門職大学院、助産学科）に無償貸与。使用期間—長期使用貸借希望。更地費用（校舎取り壊し、整地等）約1億円を市が負担。鴨川中学校の残債は約2,600万円

企業のために、両校の残債約6,500万円と整地費用約1億円を負担したうえに

30年以上も無償貸与とは、約300億円の借金を抱える市の正常な行為とは理解できません。

鴨中については、まだ統合もしていないのにこのような話を進めるとは不謹慎きわまりないことなので強く抗議します。

統合後の活用については市民の意見を取り入れて、市民のためになる方向で検討することを要望します。

コミュニティバス

事業全体の見直しを

滝口 コミュニティバスについて市民から、「八色の福祉作業所は午後3時に終了しますが、バスがなく、駅まで歩いている」「駅から江見への連絡バスもなくなり、家族が迎えに行かざるをえない」などの声が届いています。

試行運転5ヵ月の結果をまとめてみると1台の乗車数は平均2名、料金及び運行時刻はバス会社のバスとほとんど変わりません。

しかも、年間委託料は約4,000万円です。これでは何の為のだれの為のバスなのか、事業全体を見直してデマンド交通システム（予約制乗り合いタクシー）にしたら如何ですか。

片桐市長 9月16日からルートの運行時刻を一部変更して江見方面行きのバスとの接続を復活した。コミュニティバスについては、現状は、以前に廃止した路線の代替バス5路線の運行経路をカバーしている。指摘のとおり、既存路線を含めて運行時刻の調整等はまめに行う必要がある。

デマンド交通システムは高齢化が進むこの地域にとって、また地域の商工業の活性化等にとっても期待できるが、導入には多額の費用を要する。地理的状況や公共交通の多様性等から現時点では利用環境を含め、公共交通の充実に取り組んでまいりたい。

南房総市では200円の乗り合いタクシーが実施されました。鴨川市のコミュニティー

バスも低料金にするとともに、運行時刻も利便性のよいものに改善することが必要です。

また、山間部で道路も狭いところが多い地域には、乗り合いタクシー（デマンド交通）を検討することを強く要望します。

CO₂削減計画は

観光都市鴨川にふさわしいものに

滝口 鴨川市の地域振興エネルギービジョンでは、鴨川市の沿岸地区、もしくは洋上、鴨川市の山間部等に 1,500 KW級の大型風力発電設備 15 基を設置する計画です。

また、民間業者の計画には、嶺岡地区中心に太海、江見の山間部に 47 基設置とあります。すでに、嶺岡地区、及びその他、数カ所で風力調査をしており、その中には県立自然公園も含まれています。

各地で風力発電は社会問題になっています。健康被害については環境省も調査を始めています。建設時には多額の補助金がつきますが、数年で折れたり、不具合を出す風車が続出しています。観光都市鴨川にはふさわしくありません。事業の凍結を要望いたします。

風力発電所建設が生活に与える影響について次の点が懸念されます。

1. 風力発電から発生する低周波音による人体への健康被害
2. 24 時間連続するモーター音や風切り音による騒音
3. 開発に伴う森林伐採とこれに伴う漁業への悪影響
4. 地すべりや井戸、農業用水等への深刻な影響
5. 景観の変容、100 メートル以上の巨大風車による圧迫感等

片桐市長 本市の基本構想にも、また土地利用の基本方針としても「優れた自然環境、景観の保全と活用、貴重な歴史文化環境」を掲げている。環境と景観を破壊するようなものである限り、地球温暖化対策に資するといえども望ましいとは言えないと考えている。地域の皆様の理解が得られない限り、進めるべきではないが、今後とも慎重に対処していく。

滝口 天面地区に風車を 3 基設置の計画でしたが、お互いに干渉しあうとの理由で 1 基だけが設置されました。業者は、計画以上に林地の開発を進めています。風力発電をかくれみのにして土砂の搬出が目的ではなかったのか。特に風車周辺の環境破壊には著しいものがあります。（CO₂ 削減）モデル地域にふさわしい環境に復旧させるべきと考えます。

片桐市長 平成 19 年 6 月の改正建築基準法の施行により、設計等の見直しの結果、1 基に変更になった。しかし、三基を設置する前提で、林地開発を進めた結果、設置基数の減少に伴い、造成を止めざるをえなくなったと聞いている。したがって、必要以上に開発された土地は現状復帰されることになっている。土採取事業については、風力発電施設に係る地域内で実施されたことは釈然としない。しかし、県の認可を受けて林地開発行為も変更した上で実施している事業なので、言及は差し控えたい。

天面の風車設置周辺からの土砂採取等による大型ダンプの通行で、曾呂の住民から「道路破壊がひどい」との声があり、私は市に土砂採取事業の取り消しを求めました。

ご意見、短歌、俳句をお寄せ下さい

きらめきて流るる水を見つめいる 風寒き日の釣り人の群	千恵
緑濃きスタダチの木の実たわわなり 赤きカラスウリもからみ賑わう	房江
温暖化異常気象と騒がしい 地上を余所に大き満月	みち子
秋の蚊を打つ気になれず見つめおり 山上の池塘に写す罌雲	栄子
朝露に濡れてる猫の白露かな	久夫 みち子

赤旗日曜版（週刊紙）

1ヶ月 800円

家族で楽しむ、
役に立つ新聞です

無料法律相談会

日時 11月27日(金)13時30分
場所 館山市・菜の花ホール
弁護士が相談に応じます。
申し込みはお早めに
主催 日本共産党安房郡市議員団
連絡先 滝口 ひさお
TEL 04-7095-2923